

パイロットが作る季刊誌

パイロット

2016 Summer

(公社) 日本航空機操縦士協会は会員を募集しています



副会長あいさつ

総会報告

JAPAレポート

JAPA案内

Captain's Eye／小林宏之



Photo by Boeing Company

明日の空へ、日本の翼



JAPAN AIRLINES



Japan Aircraft Pilot Association

『公益社団法人 日本航空機操縦士協会のめざすもの』

1. 私達の活動の目的は、定款に定められた通り「航空技術の向上を図り、航空の安全確保につとめ航空知識の普及と諸般の調査研究を行い、もって我が国航空の健全な発展を促進する」ことです。
2. 私達は、定款の目的を踏まえ、将来のあるべき姿として「安全で誰からも信頼され、愛される航空を実現する」というビジョンを描いています。
3. 私達は、目的・ビジョンを達成するために下記を基本的指針に掲げて活動して行きます。
 - (1) 航空の安全文化を構築する。(組織と個人が安全を最優先する気風や習慣を育て、社会全体で安全意識を高めて行くこと)
 - (2) 地球環境と航空の発展との調和を図る。
 - (3) 航空に携わるもの同士が心を通わせ共存共栄を図る。

第52期重点施策

平成28年度は、支部・委員会の自律的行動を基盤としながら安全文化・安全意識の一層の普及・啓発に取り組むと共に、それにつながる会員向け情報の発信力強化に注力して参ります。また、幅広い意見に耳を傾けながら、協会組織および機能強化についても継続的に取り組み、接点（パイプ）役としての期待・役割を着実に果たすため、事務局職員の人材育成も計画的に行わねばならないと考えております。

かかる観点から、以下の通り重点項目を定めて事業を遂行して参ります。

1. 航空の安全文化および知識に関する更なる普及・啓発

対象の絞込みによる効果的な普及・啓発の企画立案

2. 安全対策への取り組み

安全意識の浸透に寄与する組織・委員会活動の深化・拡大

3. より効率的な組織運営のための体制・機能強化

- ①各種事業の強化・拡大を見据えた組織体制および業務分掌の再構築
- ②会員向け情報提供サービス向上のためのIT機能強化

平成28年熊本地震の犠牲者およびご遺族に哀悼の意を表しますと共に、避難生活を余儀なくされ不安な毎日を過ごされている多くの被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

新聞・テレビ等を通じて、昼夜を問わず人命救助や災害復旧が行われていることを目にしており、これらの活動に従事されている消防・警察・自衛隊関係者、報道関係者、赤十字飛行隊関係者をはじめ、救助・支援活動に従事されている全ての操縦士の皆様に、心から敬意を表すると共に、深く感謝申し上げます。

未だに余震が続く状況ではありますが、皆様におかれましてはくれぐれもご自身の健康と飛行の安全に留意された上で、今後の活動に従事されますことを祈念いたしております。

公益社団法人 日本航空機操縦士協会
会長 下枝 堯



Japan Aircraft Pilot Association

航空の安全、そして未来のパイロットのために
JAPAのフィールドは広がります。

操縦士協会は現在6,700名を超える会員が所属しており、

エアライン、航空事業会社、官公庁そして自家用操縦士等の

会員により構成されております。

「航空技術の向上を図り、航空の安全確保につとめ航空知識の普及と

諸般の調査研究を行い、もって我が国航空の健全な発展を促進する

(定款第3条)」ことを目的として活動しています。

日本航空機操縦士協会について詳しくはホームページへ

www.japa.or.jp

JAPA

検索

【入会のご案内】

Q. JAPAは誰でも入会できるの？

A. 航空従事者技能証明書が無くても入会できます！

Q. 会費と特典は？

A. 正会員・個人賛助会員A (18,000円)

個人賛助会員B (6,000円)

法人賛助会員 (50,000円)

会員特典などはホームページにてご確認ください！

Collaboration

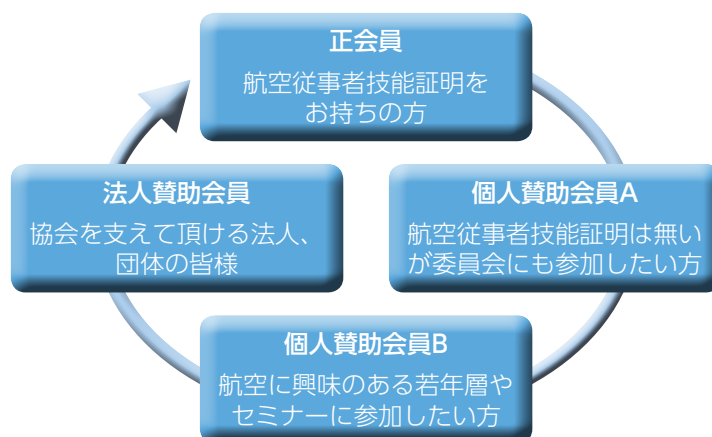
航空に携わるもの同士が心を通わせ共存共栄を図る

Learning

航空の安全文化を構築する(組織と個人が安全を最優先する
気風や習慣を育て、社会全体で安全意識を高めて行くこと)

Ecology

地球環境と航空の発展との調和を図る



公益社団法人 日本航空機操縦士協会 Japan Aircraft Pilot Association

〒105-0004 東京都港区新橋5-34-3 栄進開発ビル 2F

メール japa@japa.or.jp TEL 03-6809-2902

CONTENTS

04 吉田副会長挨拶

06 Captain's Eye

第9回 効果的なリスクマネジメントを考える

08 空港特集

高松空港

10 総会開催報告

12 JAPA レポート

協会長表彰・会長奨励賞・ECO 川柳コンテスト・

新理事紹介・法人賛助会員紹介・ブラッシュアップセミナー開催報告・

航空教室開催報告・委員会報告

23 JAPA 案内

書籍紹介・読者プレゼントコーナー・HP 変更案内



副会長挨拶

副会長 吉田 徹



第51回通常総会で役員の選任を受け、その後の理事会で副会長に推挙されました吉田 徹です。
私の協会での経歴と関連する協会事業を紹介させていただき、ご挨拶とさせていただきます。

定期または事業用操縦士の会員構成であった協会に、定款第3条「本協会は、航空技術の向上を図り、航空の安全確保につとめ航空知識の普及と諸般の調査研究を行ない、もって我が国航空の健全な発展に寄与することを目的とする。」に則って、欧米航空先進国の様に、ジェネラルアビエーションを充実し、大空を共有する会員同士として自家用航空及びスポーツ航空の発展に寄与し、民間航空の裾野拡大のため1998年（平成10年）に「自家用操縦士部会」が設置されたのを機に、入会させていただきました。

自家用操縦士部会では協会会議室及び支部会場等で安全啓蒙のための講習会、研修会を行っていましたが、この活動をバックアップし、その効果を継続させるためには自家用操縦士が利活用し易い教本の必要性が常務理事会で審議され「教本作成分科会」が発足し、その分科会委員に登用されたのが協会活動の最初でした。教本は「TAKE OFF 安全飛行への招待」の表題で現在第4版が継続出版されています。

2003年には「自家用操縦士の飛行の安全確保」に関する通達が発せられ、定期的な安全講習会の受講及び最近の飛行経験が求められる状況となりましたので、協会として講習会開催の努力を行いながら、自家用操縦士を会員に持つ他の団体等とも連携し、この講習会を全国規模で開催するための事務局として企画運営を行ってまいりました。

その後「日本版フライトレビュー制度」への法改正が行われ、2014年からは全ての操縦士に対し「特定操縦技能の審査制度」が義務付けられましたが、この審査において安全講習会を受講者された方は通達「改正国空航第1006号」により受講後2年間、口述審査の一部免除が受けられるという位置づけがされています。

安全講習会は14年目を迎え、累計で11,000名以上の方の出席をいただき、今後は協会事業にありますTEM/CRM グランドスクールと連携し、Single Pilot 向けの運航における更なる安全性の向上とインシデントの防止を計るためのテーマを織り込んで充実させていく予定です。

自家用操縦士部会はその後「GA委員会」としてその主旨を継続し各地で開催される空港祭に飛行機工作教室、トークショー等により航空を身近に感じていただく「スカイスクエア」を独自で企画し参画しています。

スポーツ航空の分野ではFAIの航空スポーツ統括団体としてデリゲートの派遣、競技会等の情報提供、選手の推薦、国内記録の公認等の活動を行っています。

併せ会員向けに空港・基地見学会を随時開催し、空域、施設に関する情報提供や管制官、気象官署等との交流の場を提供しています。

また、安全対策事業としては参考資料の提供の一環として区分航空図に対する編集のサポートなども行っています。

これらは全て会員のボランティアで、会員との接触の機会が多い GA 委員会委員が中心となって活動が行われ HP 等で紹介されています。自家用航空並びにスポーツ航空を楽しんでいらっしゃる操縦士の皆さまの中には、これらの活動の企画、運営、管理に関してご経験豊富な方も多いと思われますので、ぜひご参加いただき、活動を通じてご自身の知見を広める一助にいただければと思います。

協会活動の一層の拡充に向け皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。



TAKE OFF 第4版

安全飛行への招待

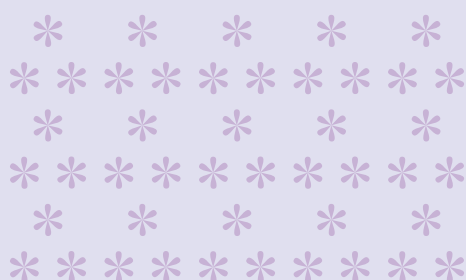
日本航空機操縦士協会・ジェネラルアビエーション委員会 編集
A4判・228ページ・定価 5,400 円（税込み）
日本航空機操縦士協会 発行

本書は初めて飛行機の勉強をする訓練生のために、基礎を重点に編纂、操縦訓練のバイブルとしてご活用頂けます。

VFR における小型固定翼機の飛行を念頭に置き、操作要領、諸元などは、日本で多用されているセスナ 172 をベースに記述しています。読者の方が操縦される機体の手順や諸元などと異なる記述もあると思いますので、それぞれの機体の飛行規程に従ってください。

○航空安全講習会 申込みは JAPA ホームページにて受付中！

開催日時	地区	場所	定員
2016 年 7 月 30 日（土） 13：00-17：00	東京	JAPA 会議室	30 名
2016 年 8 月 20 日（土） 13：00-17：00	北海道	かでの 27 940 研修室	30 名
2016 年 9 月 24 日（土） 13：00-17：00	広島	広島ダイヤモンドホテル 安芸の間	30 名
2016 年 11 月 6 日（日） 13：00-17：00	沖縄	那覇空港事務所会議室	30 名





第9回

効果的なリスクマネジメントを考える

Safety Management それとも Risk Management ?

事故・インシデントを防止し、安全を維持する活動には、安全管理という言葉が一般に使用されている。英語でも Safety Management という用語がある。しかし、よく考えてみると安全というものを管理できるのであろうか、はたして、Safety を Manage できるのであろうか。

実在し、潜在するものについては現実的に Manage（管理）することができる。しかし、安全というものは、はじめから存在するものではなく、実在し、潜在するリスクや危険要因（ハザード）を Manage（管理）した結果が、安全であったということに他ならない。或は、たまたま運良く、何事も起こらなかった結果でしかない。

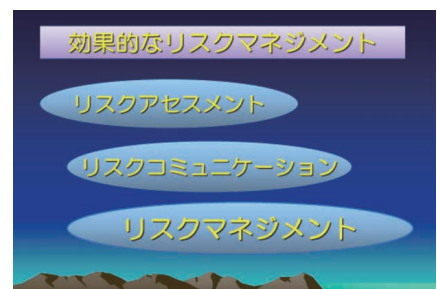
現場の人間としては、Safety という抽象的な言葉ではなく、より具体性のある Risk という言葉を使って、安全を許容範囲内に維持するための、マネジメントに考えてみることにしたい。

リスク (Risk) とは

人間が活動する際には必ず様々なリスク (Risk) が伴う。その対応 (Manage) がまずいと危害や損害が発生する。逆に対応すべきときに何もしないことが、結果的に危害や損害を被ることもある。これを「無作為の策」と言う。リスクは危害や損害などの不都合なことが、起こるかもしれない「不確実性」でもあり、この「不確実性」に対する対策、対応がリスクマネジメントでもある。

効果的なリスクマネジメントは3点セットで

安全を確保、維持するために効果的なリスクマネジメントを実施するには、リスクアセスメント、リスクコミュニケーション、リスクマネジメントの3点セットで行うことが大切である。リスクアセスメント、リスクコミュニケーションは、日本の社会においては、残念ながらまだ十分に浸透しているとは言えなのが実情である。そこで、リスクマネジメントを考えるまえに、まずリスクアセスメントとリスクコミュニケーションについて、簡単に触れ



てみたい。

リスクアセスメント



リスクアセスメントはリスクを特定、推定、評価し、リスクを低減する。低減できない場合は、その活動を実施しないこともあり得る。

私たちの活動にはどのようなリスクがあるのか、考え得るリスクを全て洗い出す「リスクの特定」という作業がまず最初にある。

その次に、洗い出した個々のリスクが発生する確率 (Probability) と、実際に発生した場合の被害・損害の大きさ (Damage) を推定する「リスクの推定」の作業を行う。これは、特定したリスクを R で示すと、リスクの大きさを $R = P \times D$ と

表すことができる。

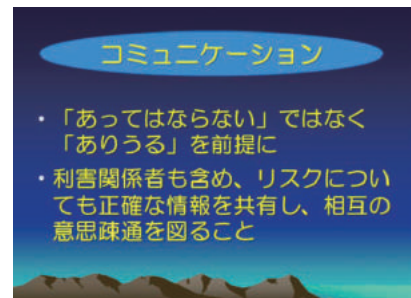
次には、 $R = P \times D$ の値の大きさによって、そのリスクが許容できるかどうかを評価する「リスクの評価」の作業を行う。許容出来ないと評価したリスクを、許容できる範囲に低減できるものについては低減し、対策を行い、未然防止に繋げる。

許容も低減もできないリスクに対しては、その活動は実施しないことになる (回避する)。リスクが時間とともに変化するものについては、許容範囲内になるまで活動を待つ場合もある。

リスクコミュニケーション

リスクコミュニケーションも、日本の社会にとってまだ定着していないもののひとつである。その背景には、不都合なことは「あってはならない」という風潮がある。「危ない」「危険だ」という言うだけで、「ありうる」ことを前提にして、どういう場合に、どのような条件が重なれば危険なのか、その場合はどのようにして許容範囲内に維持するのか、という具体的な議論がなかなかされない傾向がある。リスクマネジメントも「ありうる」が前提になる。

現実的かつ効果的なリスクマネジメント実施するためには、利害関係者も含めて、リスクについても正確な情報を共有し、相互の意思疎通を図ることが大切である。そのための双方向のコミュニケーションが「リスクコミュニケーション」と言われるものである。



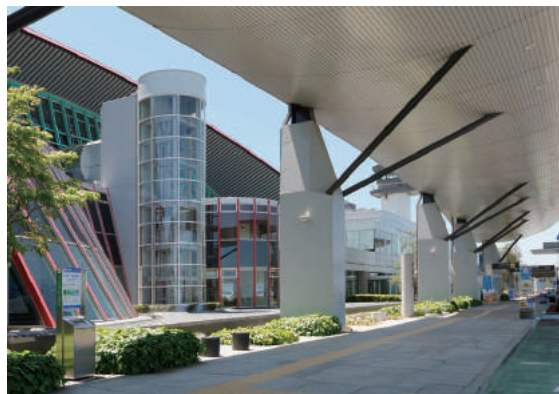
リスクマネジメント

安全を常に許容範囲内に維持するためには、リスクアセスメント、リスクコミュニケーションと並行して、実践的なリスクマネジメントを実施する必要がある。事故やインシデント、トラブルを未然に防止する。例えばリスクが発生しても、その被害を局限に止めて最悪の事態を防ぐ。そして正常な状態に回復する。回復することができたならば、再発防止策を策定し、実施する。この一連のマネジメントがリスクマネジメントである。

ここで最も大切なフェーズは未然防止であることは異論を挟む余地はなかろう。その未然防止の要諦は、昨今の幾多の事例の教訓から「正確な状況認識と基本・確認行為の徹底」にある。そして、トラブルが発生した際に被害を最小限に止めるためには、重要度の選択とそれに沿った迅速かつ確実な行動が挙げられる。そして、リスクマネジメントにおいて、求められる心構えとして「謙虚心と自律心」をあげたい。

【高松空港ビルを紹介】

高松市中心部から南へ約 14 km の香南の丘に建つ高松空港は、平成元年 12 月に開港しました。ターミナルビルはガラスを多用した開放感のある建物で、鉄骨部分はポップな色調で躍動感を表し、建物前面の大庇は飛行機の翼をイメージした洗練されたデザインとなっています。また、空港の敷地入口には、香川県牟礼町にアトリエを構えていた世界的に有名な彫刻家イサム・ノグチの遺作である「タイム・アンド・スペース」が設置されています。



高松空港ターミナルビル



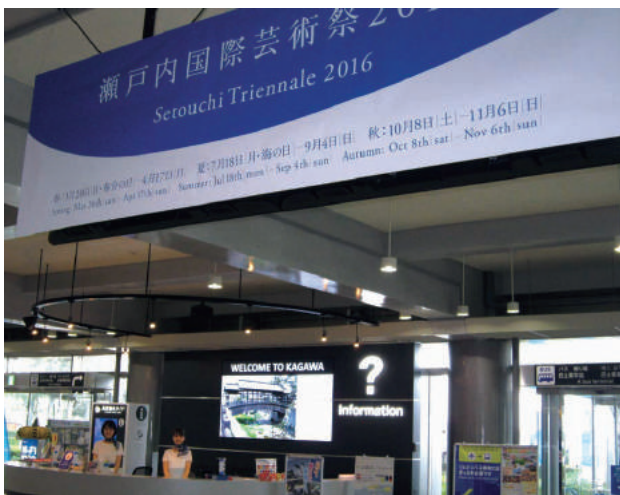
イサム・ノグチ作「タイム・アンド・スペース」



空港 高松

【リニューアル】

<インフォメーションセンター>



生まれ変わったインフォメーションセンター

今年 2 月 26 日に高松空港総合案内所が、航空利用客の多様化から機能性を追求したインフォメーションセンターに生まれ変わりました。今回のリニューアルでは、“おもてなし”をコンセプトに、後方に大型マルチビジョン（55 インチ 4 面）を設置し、高松空港に到着される旅客に 5 か国語でのウェルカムサインをご覧いただくほか、香川県内の観光地 PR やイベント情報等を放映しています。併せて、観光パンフレットの充実を図っています。

その他、お客様が無料で自由にネット検索できるタブレッ

ト 2 台を配置するとともに、お客様が手ぶらで観光が楽しめるよう、ワンコイン ¥500 でインフォメーションセンターから県内宿泊先まで手荷物宅配を行う「手ぶらで観光」サービスも行っています。またお出迎えのお客様には、飛行機到着までの待ち時間を楽しんでいただけるよう、65 インチの液晶モニター 2 台を使ってリアルタイムで飛行機発着の様子をご覧いただくなど、空港の新しい楽しみ方を提案しています。

<施設の充実>

開港後 27 年目を迎えたことから、お客様の快適性と利便性向上のため、様々な施設改善に取り組んでおり、バリアフリーの観点から国内線到着旅客経路に車いす対応エレベーターを新設するとともに、ターミナルビル中央のエレベーター



男子トイレ洗面台

ターを車いす対応のシースルータイプに更新しています。

また、「誰もが使いやすく、明るく清潔で安全なトイレ」をコンセプトに既設トイレの改修に取り組み、男女トイレとも洗浄機能付き洋便器や手すり、便座クリーナーはもとより、ベビーチェア、更衣台、おむつ替えシートなどを可能な限り設置するとともに、点字案内板や耳の不自由な方のための警報フラッシュライトを設置しています。

特に、カードラウンジ前のトイレでは高級感あふれるインテリアとするとともに、各洗面器に最新式の手洗い乾燥機を設置しています。

【うどんの出汁が出る蛇口】

2F 出発ロビーの国際線保安検査場入口付近には県内各市町の観光特産品 PR コーナー「空の駅かがわ」を設け、その一角に人気のうどんの出汁が出る蛇口があります。香川県内のセルフうどん店でよく見かける、自分でタンクについているコックをひねって出汁を注ぐスタイルを空港で無料体験することができます。蛇口から出てくる“かけだし”は、いりこ、かつお、コンブがブレンドされた素朴な味。試飲した後は、きつとうどんが食べたくなるはず！毎日、出来立ての出汁が出てきますが、なくなり次第終了なのでお早めどうぞ！



出汁がでる蛇口

【瀬戸内国際芸術祭 2016】

美しい瀬戸内海の島々を舞台に3年に1度開催される現代アートの祭典です。3回目となる今年の会期も、春（期間終了）、夏（7月18日～9月4日）、秋（10月8日～11月6日）で、季節の移り変わりを楽しみ、ゆったりした気持ちで島々を巡ることができるよう3シーズン（計108日間）に分けて開催しています。島の人口減少や高齢化、島の固有文化が失われつつある現状を打開すべく、瀬戸内の島々の活力を取り戻し、瀬戸内海が地球上の全ての地域の『希望の海』となることを目指しています。香川県や瀬戸内の島々が全国に誇る伝統文化に、美しい自然を生かした五感で感じることができる現代アートが加わり、瀬戸内の新鮮で豊かな食材を使った作品や地域の魅力を発信、また島民やボランティア

サポーター「こえび隊」との触れ合いや、演劇、野外公演などのパフォーマンスを楽しめたり、体験型ワークショップも多彩で充実しています。

※詳細は右記 URL をご覧ください。

<http://setouchi-artfest.jp/>



作者：草間彌生 作品名：「赤かぼちゃ」
撮影者：青地大輔

【今後の高松空港】

平成27年の高松空港乗降客数は過去最高の178万人でした。特に国際線は台北、上海、ソウルと東アジアの主要3都市に就航しており、国策でもあるインバウンド観光振興を背景に、7月からは新たに香港線が加わります。

さらに今後も国際線の増便が予定されており、訪日旅客数が増加が見込まれていることから、高松空港では、香川の、そして四国の玄関口にふさわしい空港として更なる利便性の向上と機能性の追求に努めてまいります。

特集 空港！

RJOT

JAPAレポート

～第51回通常総会開催報告～

公益社団法人日本航空機操縦士協会「第51回通常総会」が平成28年6月6日(月)「ギャラクシーホール」(東京国際空港第一旅客ターミナルビル)にて開催されましたのでご報告申し上げます。

冒頭、根本専務理事が開会を宣言し、総会が開始されました。はじめに、下枝会長より会員各位の協会活動への支援、協力についての謝意があり、公益法人として、より社会に貢献し我々に期待されている役割を果たしていくことを述べられました。

引き続き、総会議長選出にあたり石井幸光会員が推薦され、満場一致の賛成を得、議事録署名人には、高橋清彦会員、小松誠司会員の2名が指名され、了承を得た後、議案の審議に入りました。



◆ 議案 ◆

【審議事項】

第1号議案 平成27年度事業報告および決算報告について議案書の通り承認されました。

第2号議案 定款の一部変更について(終身会員待遇を受けた正会員を「終身会員」と定義し、定款第5条に追記)議案書の通り承認されました。質疑応答において過去会員移行時の会費納入者への対応、協会員としてのステータスの低下等意見が出されました。根本専務理事より公益社団法人としてしっかり定義し、誠意を持って対応していく旨説明があり、また下枝会長より若い世代への更なる活躍を促す必要性を述べられました。実施日については理事会での会員規程改定後、該当会員へ案内する旨補足がありました。

第3号議案 役員の選任について議案書通り承認されました。

【報告事項】

平成28年度事業計画および予算について議案書のとおり報告されました。以上をもって議案全ての審議を終えたため、石井議長は議事の終了を宣言し、最後に根本専務理事より閉会の挨拶がありました。

【役員互選】

第290回理事会が開催され、下記の業務執行理事が選ばれました。

会長(代表理事)	「下枝 堯」
副会長	「井上 伸一」
副会長	「菅生 徹」
副会長	「吉田 徹」
専務理事	「根本 裕一」
常務理事	「石井 清」「小田 邦雄」「齋藤 賢二」
	「早乙女 一成」「山村 洋司」

～通常総会懇親会～

引き続き通常総会后、懇親会が開催されました。下枝会長、来賓の高野航空局運航安全課長よりご挨拶があり、当協会「協会長表彰」の表彰式が挙行され、次の5名が受章されました。

藤澤 盛光 氏 (ジェットスター・ジャパン OB)
 福島 英樹 氏 (全日本空輸)
 中里 巧 氏 (三菱重工業)
 笹原 富之 氏 (全日本空輸)
 渡壁 貴美雄 氏 (全日本空輸)

終了後、日本航空技術協会 川内会長の乾杯の音頭により開催となり、盛会に実施されました。



第52期役員

会 長	下枝 堯	理 事	植田 展生 (新任)
副 会 長	井上 伸一	理 事	大澤 一郎
副 会 長	菅生 徹	理 事	大坪 修二
副 会 長	吉田 徹 (新任)	理 事	大村 大 (新任)
専務理事	根本 裕一	理 事	慶田 竜也
常務理事	石井 清	理 事	出頭 孝夫
常務理事	小田 邦雄	理 事	管 聖
常務理事	齋藤 賢二 (新任)	理 事	高橋 章
常務理事	早乙女 一成 (新任)	理 事	田中 天兵 (新任)
常務理事	山村 洋司	理 事	林 晃一
理 事	荒谷 秀夫 (新任)	理 事	若谷 哲也
理 事	板垣 英樹	監 事	志鳥 學修
理 事	伊藤 典弘 (新任)	監 事	白石 豊樹

JAPAレポート

～協会長表彰～

協会長表彰受賞者

6月6日（月）通常総会記念懇親会に於いて、長年航空における学術、技術、運航技術等について、航空界に貢献したと認められた会員の方に「協会長表彰」が授与されました。

なお、業務都合により全日本空輸「福島英樹氏、渡壁貴美雄氏」はご欠席されたため、同社代表者が代わって授与式にご参加頂きました。



三菱重工業
中里 巧 氏

ジェットスター・ジャパンOB
藤澤 盛光 氏

JAPA
下枝会長

全日本空輸
笹原 富之 氏

受賞者の声



気が付くと操縦士となって31年、JAPA 中部支部での活動は17年になりました。

地道な行いを評価して頂き、今回は身に余る賞を頂けることとなり大変光栄に存じます。

今後も地道に航空の世界で努力し続けられることを祈りつつ祝杯を致します。

三菱重工業 中里 巧

～会長奨励賞～

林 伸太郎

航空大学校 第60回生Ⅳ期



◆会長奨励賞受賞にあたって

この度は JAPA 会長奨励賞に選定頂き、誠にありがとうございます。このような素晴らしい賞を頂け大変光栄に思います。今回の受賞も熱心に指導くださった教官方、日々支えてくれた同期、私たちの訓練の為に尽力下さった多くの方々なくしてはありませんでした。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

私は伊丹空港の近くで生まれ育ち、幼い頃から飛行機が身近な存在でした。颯爽と飛び立つ飛行機を見たときに感じた感動と大空への憧れが、私のパイロットになりたいという思いの原点にあります。今後も初心を忘れることなく、謙虚にして驕らず更なる高みを目指し努力していく所存です。そしていつの日か私自身が機長として安全運航の担い手となり、一人でも多くの人々に飛行機の魅力、大空への夢や感動を伝えることが私の夢であり目標です。いま幸運にも夢を実現できる環境にいること、そして私の夢の実現を応援してくれる人への感謝の気持ちを忘れず、今後はエアラインパイロットとして航空界の発展に少しでもお力添えできるよう、今回の受賞を励みに努力を怠らずより一層精進して参ります。

ARSaP 2016 安全講演会

主 催：NPO 法人 航空・鉄道安全推進機構（ARSaP）

後援（予定）：運輸安全委員会、日本航空宇宙学会

特定非営利活動法人（NPO 法人）航空・鉄道安全推進機構（ARSaP）は、航空・鉄道輸送の安全性向上及び事故の再発防止を目標に、情報交換と啓発活動を行っています。

ARSaP 2016 安全講演会を下記の通り開催します。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日 時 平成 28 年 11 月 27 日（日） 13 時 30 分～ 17 時 受付開始 13：00

場 所 東京大学 山上会館

東京都文京区本郷 7-3-1 TEL 03-3818-3008

アクセスマップはコチラ

CLICK!

参加費 資料代として 1,000 円をいただきます。（NPO 会員は無料）

定 員 120 名 定員に達し次第募集締め切り

お申し込みはコチラ

CLICK!

プログラム

13：30 開 演

司会 渡辺 顯 NPO法人 航空・鉄道安全推進機構理事

開会の挨拶 後藤昇弘 NPO 法人 航空・鉄道安全推進機構理事長

来賓挨拶 中橋和博 運輸安全委員会委員長

13：40 運輸安全委員会とその業務

前運輸安全委員会委員長 後藤昇弘 氏

（休憩 14：40～14：50）

14：50 超電導リニアによる中央新幹線

JR 東海 リニア開発本部 担当部長 大島 浩氏

（休憩 15：50～16：00）

16：00 終戦直後の旧日本機を追って

元航空事故調査委員会 首席航空事故調査官 藤原 洋氏

17：00 閉 会

終了後、懇親会を行います。任意参加です。場 所 1 階ラウンジ 費 用 5,000 円

講演会と一緒に申し込みください。費用は当日受付で徴収します。

JAPAレポート

～第2回 JAPA 航空 ECO 川柳コンテスト～



JAPA 航空 ECO 川柳コンテスト

《未来に残す私たちのかけがえない宝物“地球”》



昨年度に引き続き、第2回航空ECO川柳を募集しておりました。応募作品は去年に比べ大幅に増加し、755作品も集まりました。多くの作品の中から入賞作品を選出するため4月14日にJAPAにて選評会を開催しました。航空業界だけでなく多様な分野の選者に「航空」と「エコ」両方の視点から入賞作品の選評を行っていただきました。

大量の燃料を使用して、二酸化炭素も多く排出する航空機にとって、地球環境の保全是大命題です。航空業界としては、環境問題にしっかりと向き合っており、取り組んでいくためにも、エコへの意識付けのため、第2回の航空ECO川柳を開催しました。



日本舞踊家・脚本演出家
山村 佐智子 氏

東映時代劇女優として舞台・テレビに出演。結婚を機に女優を引退し、日本舞踊家として海外で文化交流で舞台に立つほか、映画・テレビ・舞台で振付・始動。脚本・演出家として舞台政策。専門学校・芸能プロダクションで俳優声優の後進の育成にあたっている。



文学座俳優
椎原 克知 氏

商社に勤めながら1996年文学座研究所のオーディションを受け合格、5年間の厳しい研修後正式な座員となる。アカデミー賞を受賞した「千と千尋の神隠し」に声優として参加、NHK大河ドラマ「葵 徳川三代」にも出演した。所属する文学座では最年少で演技部長となるなど抜群のコミュニケーション能力とリーダーシップを発揮している。



イカロス出版
山田 亮 氏

日本唯一の旅客機専門誌（毎月30日発売）の編集を担当している。機体だけでなく、空港やサービス、その他業界全般について、民間航空の話題を広く取り扱っている。航空業界のさまざまな記事取材している月刊エアライン編集部より、前回に引き続いての参加です。



Creamu.Inc
川下 城誉 氏

Creamu.Inc を 2010 年に設立。アートディレクション・グラフィックデザイン・WEBデザインを行っている。当協会が管理者をしている「skyworks」のロゴやWEBデザインも担当している。



毎日新聞社 記者
黒川 将光 氏

毎日新聞社の社会部多摩総局の記者として活躍している。同社写真部、成田支局記者、デジタルメディアプロデューサー、成田支局長等を歴任し、主に情報技術、航空運輸、航空安全などの分野取材している。

航空ECO川柳選評会動画はコチラ

CLICK!

入賞作品



最優秀賞

エコ飛行
地球が「いいね」と
いつている
清詩薫



優秀賞

ルーティンの
エコ操縦は
5重丸
POM5



優秀賞

綿密な
整備が支える
空のエコ
キンタロー



優秀賞

地球への
感謝のかたち
エコ飛行
伊奈蔵



優秀賞

CO₂
減らす国産
技術力
フーマー



ECO賞

- MRJ 未来へ繋ぐ 夢機体 (ひろぼん)
- 別腹を 控えてママは 青空へ (いさーべ)
- 技術者の 努力と誇り エコ飛行 (みぐ)
- 空高く 燃費は低い 航空機 (ベンジャミン)
- めざします 機体と私 軽量化 (秋風)
- 飛行中 エコはいいけど エゴは駄目 (ナンサン)
- ハイテクを 載せて機体は エコになり (すばいす)



審査員特別賞

- 未来への 翼はエコで できている (感王寺)
- エコ飛行 青い地球は 青いまま (若狭展望)
- 青空に 飛ぶ機は子らの 永久の夢 (みーけんママ)
- 地球にも 人にも優し エコ飛行 (昔のおじさん)
- 安全は 節約になり 愛になる (たかぼこ)
- エゴを捨て エコで地球に 恩返し (みぢんこ)

選評者コメント

「ECO川柳・・・なんじゃ、それ!？」

昨年このお話を頂いた時の気持ちがこれです。

俳優という仕事柄、言語に敏感とはいえ、全くの門外漢、頭にECOがついている川柳って・・・なんじゃそれ(笑)。

後にこの企画の目的が“世に航空業界のことを知ってもらう”と聞き合点しました。

というわけで僭越ながら今年も興味津々、選ばせて頂きました。聞けば昨年の数倍の応募があったとか。めでたいことです。なるほどレベルもあがってきていると思います。しかし正直私はまだまだ満足できない、今後に期待したいのです。

「うがち」「かるみ」「おかしみ」というのが川柳の三要素だそうです。

“航空業界”という、一般からするとある意味特殊なフィールド、社会共通認識という点で創作当初からハードルが上がっています。ですが敢えて私は言いたい、「打倒サラリーマン川柳だ!」と。来年に期待します。



JAPAレポート

～新理事紹介～

常務理事

齋藤 賢二



この度、常務理事を拝命いたしました前ジェネラル・アビエーション（GA）委員長の齋藤賢二と申します。早いものでJAPAの委員会活動に足を踏み入れ、気がつけば四半世紀、そろそろ平穏な日々を過ごそうかと考えておりましたところ、諸先輩方からの推薦があり、新たな気持ちで、もう暫く頑張らせて頂くこととなりました。

JAPAには、多様な分野のパイロットの方々が多く集結し、それぞれ趣の異なる色を放っておりますが、「空への思い」は皆様共通のものと確信しておりますので、和を大切に切磋琢磨しながら活力ある事業の推進をして参りたいと思っております。

微力ではございますが、航空の安全と知識の普及、航空界を担う人材の育成強化、及び航空スポーツの健全な発展等を基軸として、持続的発展可能な協会にするため、会員の皆様方のお力を拝借しながら、努力して参りたいと存じます。今後とも皆様方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

理事

田中 天兵



このたび理事に就任致しました田中天兵と申します。現在エアラインで副操縦士をしております。私は副操縦士になるまでに8年を要しました。その歳月の中で心折れずにパイロットを目指し続けてこられたのは、多くの同世代の仲間と「絶対パイロットになるんだ」という想いを共有したからだと思います。想いを共有するということは、物事を前に進ませる非常に大きな力となります。日本航空機操縦士協会の理事という大役を仰せつかりましたが、私が協会や会員の皆さまにどれだけ貢献できるのか、正直に言えば不安に思うこともありました。しかし会員の皆さまと航空業界の未来への「想い」を共有させていただくことで、大きく前に進めると信じております。皆様のご助力を賜りながら、理事としての務めを果たせるよう鋭意努力し、邁進していきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどお願いいたします。

理事

大村 大



皆様こんにちは。この度理事に就任しました大村 大と申します。

AIRDO B767 の機長で B767 グループリーダーをしております。

国内での LCC 誕生の前後から国内の一部のパイロットの環境は大きく変わり、パイロットの転職も珍しいことではなくなりました。私自身も複数回の転職を経験しております。

そのようなパイロットの環境変化の中で JAPA がどのような役割を果たすことができるのか、これからの JAPA に求められる役割は何であるのかを考え、それを見出せていければ幸いです。皆様よろしくお願い致します。

理事

植田 展生



この度理事を拝命致しました植田展生です。空のスポーツの IOC といわれる国際航空連盟 (FAI) に、JAPA ジェネラルアビエーション委員として長年携わって参りました。また航空機の新カテゴリーである Light Sports Aircraft (LSA) の勉強会では、航空先進国の取り組みを学びました。JAPA の知見を活用し、航空施策の研究、自家用機や航空スポーツ愛好者への情報提供、講習会等を通じて、航空スポーツの健全な発展を支援したいと思っております。また、JAPA の横糸の専門委員会、縦糸の支部、斜め糸の業務別委員会の組織力をお借りして、社会と協調し、日本の航空文化の醸成に努めて参りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

理事

荒谷 秀夫



この度、日本航空機操縦士協会の理事に就任いたしました荒谷秀夫と申します。

これまで回転翼航空機に乗務してまいりましたが、ここ最近、小型機業界におきましても運航を取り巻く環境が大きく変化しており、また、操縦士の養成などの課題も解決していかなければならない時期と思っております。

このような中で、協会の事業推進に努め、会員皆様と共に話し合い、より良い運航環境となるようにお役に立ちたいと考えております。

皆様、よろしくお願い致します。

理事

伊藤 典弘



こんにちは。この度、理事を拝命いたしました 伊藤 と申します。航空大学校、農水協ヘリコプター民間受操課程を経まして、民間会社のヘリコプター操縦士となりました。ヘリコプターの業務は、多様な上、特性上低空でのオペレーションが多くなります。また、一人の操縦士が、日々複数の機種、複数の業務をこなさなければならないのが現状です。そのような環境の中で、どのように安全を確保していくのかが私たちの大きな課題と考えています。

操縦士協会へは、操縦士となった時、先輩からネクタイピンを渡され、半ば強制的に入会したことを覚えています。それ以来、協会の活動にはあまり貢献していませんでしたが、この度縁あって、理事という大役を仰せつかることになりました。微力ではありますが、精一杯務めさせていただきたいと思っております。至らない点が多いと思いますが、その際には叱咤激励のお言葉お待ちしております。よろしくお願い致します。

JAPAレポート

～法人賛助会員紹介～

CLICK!



アイベックス・エアラインズ

～「力強さ」と「耐久力」を絵にしたようなリージョナルエアラインのトップリーダーを目指して～

アイベックスエアラインズ株式会社 (IBEX エアラインズ) は、1999 年 (平成 11 年) 1 月 29 日に設立し、2000 年 (平成 12 年) 8 月 7 日 に仙台－関西国際空港 就航を開始いたしました。

現在では、仙台と伊丹を中心に 16 路線、1 日 56 便を運航しております。

「IBEX エアラインズ」は、ヨーロッパアルプスなどの山岳地帯に生息する山羊 (やぎ) 「アイベックス」が名前の由来です。アイベックスは野生の山羊の一種で、体長は 150 ～ 160cm、体重は雄で 75 ～ 120kg、雌では 50 ～ 55kg あります。角は雄雌ともにあり、雄の角は極めて頑丈で長さは 1m に達するものもあります。力強さと耐久力を絵にしたような堂々として気品のある動物とされています。

IBEX (アイベックス) エアラインズという名前には、こうしたアイベックスがもつ気品のある、エレガントなサービスを皆様に提供したいという思いが込められてい

ます。

最大 70 人乗り小型ジェット CRJ という小さな飛行機でありながら、力強く飛ぶ姿はまさにアイベックスという名前がぴったりです。

当社は、小型ジェット機を運航することで、地方路線の就航にも、先駆的な役割を果たしてまいりました。

これからも、更なる空のネットワークを広げ、リージョナルエアラインのトップリーダーを目指してまいります。

<経営理念>

- IBEXは安全運航を社会への責務と考えます。
- IBEXはお客様の立場から発想し、行動します。
- IBEXは成長、発展し、社会や株主の負託に応え、従業員の幸福を目指します。

以上



航空輸送技術研究センター

(ATEC: Association of Air Transport Engineering & Research)

公益財団法人航空輸送技術研究センターは平成元年の創設以来、航空安全、運航技術、整備技術を中心とする調査・研究事業や安全思想の普及啓蒙活動等を行っています。

2014 年 7 月から、義務報告制度では捕捉しにくい安全に関する情報をより幅広く収集するため、航空安全情報自発報告制度 (通称 VOICES) が導入され、報告者を保護する観点から、第三者機関として ATEC が制度運営を行っています。

事故や重大インシデントが起きる前に、ヒヤリハットで済んだ事例に関する情報を仲間と共有することにより未然防止に繋げることが大切です。是非、皆さんもご自身が経験されたヒヤリハットに関する情報

を VOICES に投稿してください。投稿は VOICES ホームページ (<http://www.jihatsu.jp/>) から簡単にできます。また、ATEC のホームページ (<http://www.atec.or.jp/>) や JAPA のホームページ (<https://www.japa.or.jp/>) からワンクリックで VOICES ホームページにアクセスすることができます。皆さんからの投稿をお待ちしています。

ATEC ではこれからも、航空の安全と航空輸送の発展に寄与するという目標に向かって積極的に事業を進めてまいりたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



★アイベックス・エアラインズより読者プレゼント！ 詳しい応募方法は P.23 をご覧ください。

～ブラッシュアップセミナー開催報告～

事務局 伊藤卓也

ブラッシュアップセミナーは、訓練生・就活生を対象に訓練で学んだ基礎知識のレビューや実運航に沿ったテーマを、現役のエアライン機長や副操縦士を講師に招き開催しております。様々なソースの学生が参加するため、情報交換やモチベーションアップも期待できます。

5月8日（日）に開催されたブラッシュアップセミナーでは、ソラシドエアの慶田機長がパイロットを目指す学生に向けて講義しました。今回は「トラフィックパターンを学ぼう」というテーマで、トラフィックパターンのスキャンパターンについて参加者を含めて話し合いました。慶田機長の講義は参加型で参加者全員が自身の意見を述べ、議論しました。

スキャンパターン

飛行機を操縦する際には、機外の見張りだけでなく計器の確認等常に目を動かしていなければなりません。この目を動かし続けることをルーティン化することで、スキャンの実力が向上します。ルーティン化されたスキャンをスキャンパターンといい、計器のクロスチェックをより有効にします。人間の視野は周辺視野も合わせて170度程度といわれていますが、実際に意識して見ることができる中心地はわずか2度しかありません。そのわずかな中心地をいかに効率的に動かすかによって、クロスチェックは効果的になります。また、スキャンパターンは常に同じパターンではなく、状況・フェーズによって変えるべきであると慶田機長は言います。「見るべきときに見るべきものを観る」ことを意識することで、見る必要のない計器はスキャンする頻度を減らし、必要最低限の計器をモニターし、処理する情報を少なくすることで、パイロットの操縦判断は容易になります。

トラフィックパターン内では、飛行機のコンフィギュレーション（飛行形態）を短時間で変更していかなければならないので、すばやい判断と操作が重要になってきます。あくまでもVFRであり、計器のみの情報ではなく、外を見ることで「見るべきもの」を少なくし、スキャンを効率化させることで、すばやい判断と操作が可能になります。

Flight Training Device（以下「FTD」）実践練習

後半はJAPAのFTDを使い、実際にトラフィックパターンを飛び、講義で学んだことを実践しました。コンフィギュレーション（飛行形態）を変えるたびに、スキャンパターンを変えることに皆不慣れな様子であったが、2周目のトラフィックパターンを飛んでいるときには、要領をおさえていました。お互いのフライトをオブザーブして反省点等のフィードバックを繰り返しました。

最後は慶田機長がトラフィックパターンを披露し、セミナープログラムを終えました。参加型セミナーだったこともあり、セミナー受講者が皆、打ち解けあい和気藹々としたセミナーであった。



今後のブラッシュアップセミナー 開催のスケジュール

開催場所：公益社団法人

日本航空機操縦士協会

会議室

開催日時

- ★ 2016年9月4日（日） 13時～17時
- ★ 2016年11月6日（日） 13時～17時
- ★ 2017年1月28日（土） 13時～17時
- ★ 2017年3月12日（日） 13時～17時

お申込みはコチラ

CLICK!

参加者コメント

今までのフライトでは、全ての計器をクロスチェックしなければならないと思っていたので、タスク過多でクロスチェックがしっかりできていないことが多かったです。

トリムを使ってすばやく定常状態にすることを意識してフライトすると、フライトに余裕ができ、スキャンした情報からどのような操作をすればいいか考える時間をできました。

今回のテーマは場周経路という事で、私が今までのフライトで一番多く数を行ってきた訓練でした。今まで場周経路の手順やフライト方法等は学んできましたが、また講義の内容を頭では理解したつもりでも実際のシミュレーターで正確に実践するのは難しかったです。副操縦士になるための訓練課程で、実機の訓練がTGLを重視する理由が分かりました。それだけフライトの中では重要で、一番その人が飛行機を飛ばす方法を理解しているかが分かる科目と聞いて納得したと同時にもっと理解して訓練をすれば良かったと反省しました。いろんな空港、条件でも毎回安定したフライトが出来るパイロットになる事を目標に今後の訓練に活かしていきます！

JAPAレポート

～航空教室開催報告～

JAPA ではパイロットを目指す若者を応援してます!



JAPA が開催する航空教室は、航空業界に興味のある若者に対して航空業界をもっと知ってもらうためのイベントです。現役で働く講師による仕事の紹介や魅力について講話されます。イベントでは、パイロット、客室乗務員、航空管制官やグラウンドスタッフによる講義と後半にはグループディスカッションにて参加者が直接質問を投げかける場を設けております。

今年度はすでに5月千歳会場、6月大阪、7月仙台地区にて多くの学生に参加していただきました。

9月以降名古屋、広島、沖縄、東京等で開催を予定しております。

今後の開催予定

日時	場所	定員	参加費
2016年9月3日(土) 10:00-17:00	中部国際空港セントレアビル 4F	80	無料
2016年10月15日(土) 10:00-17:00	広島 YMCA 国際文化センター本 館 403	50	無料
2016年11月5日(土) 10:00-17:00	那覇空港事務居会議室	80	無料
2016年12月3日(土) 10:00-17:00	野村不動産天王洲ビル 「ウイングホール」	100	無料
2017年1月21日(土) 10:00-17:00	福岡空港事務所会議室	50	無料
2017年3月4日(土) 10:00-17:00	松山市内予定	50	無料



～委員会報告～

航空安全委員会 篠田 祐廣

航空安全委員会では、6月8日、東京航空交通管制部において「航空測量飛行について」と題し委員（川崎航空：篠田）が講習を行いました。

そもそも航空測量飛行と言う事業がある事は、航空界で仕事をしていればどちら様もご存じとは思いますが、実態は闇の中と言いますか、良く分からないのが現状です。

特に航空管制の方々に取っては、エアラインが飛行する空域を何度も往復するやっかいな小型機と言う考えの方もおられます。

協会所属のエアラインの方々にも同じような意見の方もおられるのでは（笑）

空は誰のものでも無いとは言え、エアラインの方々は公共交通を担っている。管制官の方々はそのエアラインを定時に飛ばす空の交通整理を行います。小型機がそのエリアを飛行すると、定時に飛ばず遅延が生じ空に皺が寄ってしまいます。

しかし、航空測量も国には欠かすことの出来ない事業です。航空界においてはAIPの空港情報Dataを航空測量機が測量を行います。その他では災害時の災害測量、国土基盤整備の為に測量などを行うのです。

と言う事で、東京航空交通管制部の田邊次席と話をし、東京航空交通管制部の今年のSMS研修課題である「他人を知る」と言う講習の一環として行いました。

何故この様な「航空測量飛行について」と言う話をするに至ったかは、2月に行われました中部地域航空関係連絡協議会に操縦士協会航空安全委員会として参加をしたおりに、35年ぶりに田邊次席とお会いし「航空測量飛行について」という講習を6年前に1回前東京航空交通管制部で行ったが、そろそろ如何でしょうか？と言う話を持ちかけた事で実現しました。

中部地域航空関係連絡協議会の席上でも、首都圏大規模災害に於ける航空測量飛行の意義の話をしましたが、会議の規模が大きく殆どの方が？？？と言う状態でした。

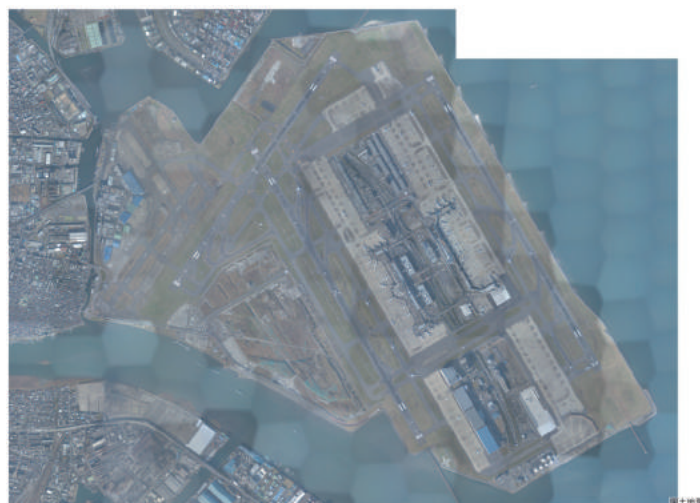
さて、航空測量とは、航空機を使用して、一定の高さから、地上に対して垂直に写真撮影を行い、撮影した写真を繋げ合わせて色々な地図を作成する作業を言います。

一例を取ると、AIP記載の羽田空港の図を作成するとすると、300枚程度と膨大な写真が必要となります。その写真から地図を作成し、その地図を元にAIPが作成されています。

高さDataは別にレーザー計測機を飛行させて情報を収集します。

機材についてはデジタル撮影機とレーザー測量機があり、一昔前にはアナログ撮影機もありました。航空測量機が飛行をするには、色々な制限があります。高度のズレは±100Ft以内、コースのズレは±30m以内（羽田空港の滑走路の中で飛行）旋回時のバンクは15°以内。と言う話をしますと、皆さんびっくりです。

PowerPointでは調整書に記載しているコース



JAPAレポート

～委員会報告～

と実際の飛行経路を重ね、それに垂直 Data を加えて説明しました。

また精度については RNAV 1 の精度と RNP 進入の精度と航空測量飛行を比べる対比 Data を使用しています。

航空写真測量で得られた写真が NG になる場合については、実際に撮影した写真を元に説明を行いました。気流の悪い時のぶれ、雲の影、太陽の南中高度の関係によるビル影、そして水に太陽が反射するハレーションなどで、管制官の方にはこのような制限が有る中での飛行を行うと言う事が良く判って頂いたと思います。



最後に、航空測量飛行で得られた Data の使用例を説明しました。

デジタル撮影 Data では

国土基板情報・都市計画図・道路台帳作成

災害予測基本図（火山泥流、砂防等、ハザードマップ基本図）

赤外画像 data からは植生状況の把握、今後の植林等を計画

固定資産評価作業（固定資産税の徴収となる基本台帳）

空港整備基本図（障害物調査による電波遮へい物図、AIP 図）

レーザー計測 data からは

ダム建設計画（建設予定地の容積の算出）

河川氾濫等のシミュレーション Data 作成

積雪前と後の data から積雪量の算出

災害復興作業計画の作成（瓦礫、土砂の算出等）

フライトシミュレーターの基本 Data

と言う様に、皆様の生活に直結する作業を操縦士 1 名、航空測量士 1 名の 2 人で黙々とトイレを我慢しながら、1Flight 約 5 時間強を行っております。

と言う半分冗談を交えながらの説明を行いました。



この講習ではお互いの立場、東京 ACC 側は安全かつ空域内の

それぞれの航空機を平等に飛ばす。航空測量機側は、自分たちが行っている業務飛行を理解して頂いた事で、今後は安全に且つ東京 ACC の方々に不安を与えない飛行が出来、安全安心な空域の棲み分けが出来ると感じた次第です。

講習最後に「我々航空測量機は日本国憲法の理念で有る、国民の生命及び財産を守る仕事です」とおち上げました。

理屈は、国民の生命を守るとは、災害が起こってしまった直後に測量飛行をします。その測量 data を元に新たな災害が起きない国土基盤を作ります。再び災害が発生し尊い命が奪われる事が無いように。そして財産とは、失った家屋や田畑、山林や町の測量を行い、災害前の測量 Data と比較を行い、失われた財産、消失した土地の確定を行う仕事です。

ですから、大げさな言い方ですが、生命及び財産を守る仕事と言えるのです。

と言って最後を閉めました。後に新田さんから聞いたのですが、一番印象に残り測量飛行について理解をしたと言う事でした。

たまには大きく出るのも良いものですね。

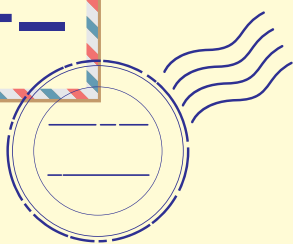


宇宙航空医学入門

藤田真敬監修 A4判 280ページ (本体 3,400円+税)

本書は JAXA、航空自衛隊、大学病院、エアラインにおいて、宇宙航空医学を担当されているエキスパートの医師各氏により執筆されています。低酸素症、空間識失調など「航空生理学」、筋変化、骨量減少といった異空間ならではの体の変化に関する「宇宙医学」、航空身体検査証明、時差障害、客室空気性状、患者空輸など「臨床航空医学」、また薬剤の航空医学的リスクについても掲載されており、パイロットのほか、ドクターヘリの関係者など、広く運航に携っておられる方などにとって極めて有益な内容となっております。高度 100km までの商業宇宙旅行が現実化されようとしている現在、宇宙医学も身近な関心事になりつつあるといえるでしょう。

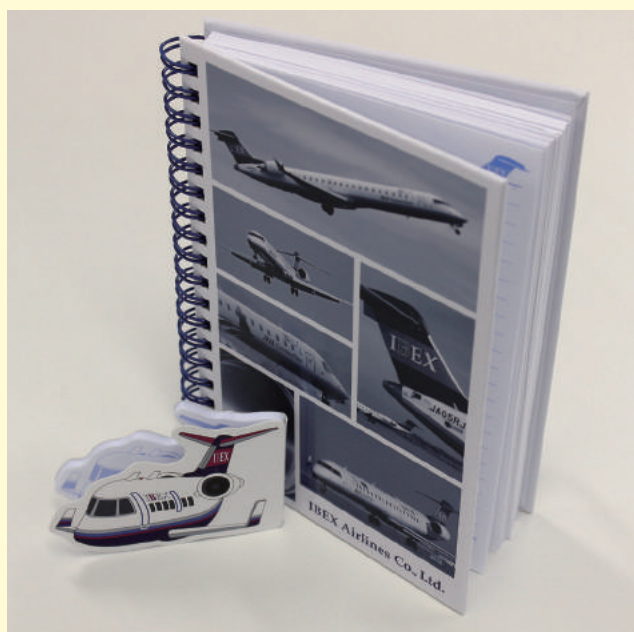
「パイロット」誌 読者プレゼント コーナー



アイベックス・エアラインズ株式会社様よりプレゼントを頂きました。
応募方法は JAPA Facebook をご覧ください。
尚、当選の結果発表は商品の発送をもって替えさせていただきます。

応募締切: 8月26日(金)

アイベックス
エアラインズグッズを
3名様に。



会員ページへ ログインは お済ですか？

ホームページリニューアルに伴い、会員ページへのログイン方法が変更になりました。

当システムには堅牢なセキュリティと安定したサーバー稼働率(99.9%)を誇り、ビジネスソリューションソフトとして定評のあるGoogleAppsを導入しています。またGoogleカレンダーやドライブを利用することで新たなコンテンツの充実を図り会員の皆様へ有益な情報を提供できるよう、運営に努めて参ります。



尚、前回同様電子書籍サービスの利用等も引き続き行っておりますので、是非ご登録をお願いいたします。

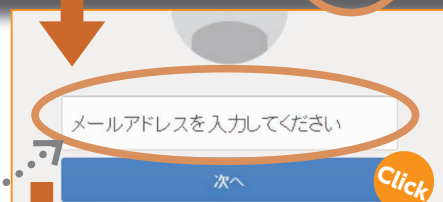
1

JAPAホームページ
会員ページをクリック



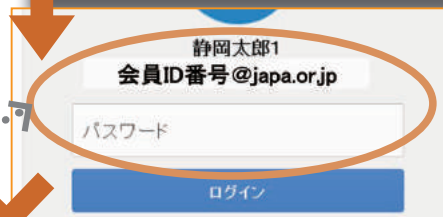
2

ログインボタンを押し
こちらには、JAPAからお配りした「会員ID番号(数字7桁)」のあとに「@japa.or.jp」を入力。
例：1234567@japa.or.jp



3

こちらには、JAPAからお配りした「仮パスワード」を入力



4

「同意する」を選択後、
任意のパスワードへ変更

※注意事項
任意のパスワードへ変更後は、
個人情報保護の観点から事務局での確認
ができません。
お忘れの際はパスワードの再設定をお願い
します。



5

「許可」を選択後個人の会員情報を
確認適宜設定後、完了



・秘密の質問の設定
・住所確認

【初期設定完了】

※その他、詳細については送付しておりますログインマニュアルを別途ご確認ください
尚、会員ID番号等、不明点がございましたらJAPA事務局までお問合せください

JAPA事務局ホームページ担当宛 メール japa@japa.or.jp

FTD Flight Training Device



飛行訓練装置「FTD」を米国「Precision Flight Controls 社製 Modular Flight Deck」に更新。より質の高い訓練の提供が可能です。

詳しくは WEB へ

<https://www.japa.or.jp>

JAPA では体験搭乗も承っております。
飛行機や空に興味がある方は是非、お問い合わせください。



ホームページリニューアルに伴う FTD 予約のご案内

7月1日 JAPA ホームページのリニューアルにあたり、FTD 訓練予約の空き状況がネット上で閲覧できるようになりました。JAPA ホームページの「FTD カレンダー」より空いている日程を確認の上、ホームページより予約ができます。

週表示にすると、時間帯ごとに空いている日程がわかりやすくなります。



FTD 予約状況が
閲覧できるよう
になりました！

訓練	訓練コース	会員	一般	訓練時間
A	特定操縦技能審査	19,440円	27,000円	約30分
	技量維持訓練	16,200円	21,600円	60分
	計器飛行 (180日)	16,200円	21,600円	60分
	計器飛行訓練	19,440円	21,600円	60分
B	ポイントレッスン	12,960円	17,280円	80分
	体験搭乗	6,480円	8,640円	30分

訓練 A はフライトタイムとして、ログブックに時間を記載できます。
訓練 B はログブックにフライトタイムとして記載できません。
予めご了承ください。



詳しくは WEB へ

<https://www.japa.or.jp>

表紙写真提供
アイベックス・エアラインズ



パイロット Vol.9 / 2016 Summer

発行 公益社団法人 日本航空機操縦士協会
(Japan Aircraft Pilot Association)

〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-3

TEL 03-6809-2902 (代) ホームページ URL <https://www.japa.or.jp/>

FAX 03-3434-7774 E-Mail : japa@japa.or.jp

禁無断転載

落丁・乱丁本がありましたら
お取替えいたします

編集 「パイロット」誌発行会議
発行 根本 裕一
印刷 星光社印刷株式会社



あたたかい空へ。あたらしい空へ。

ANA Inspiration of JAPAN

A STAR ALLIANCE MEMBER 